

6/25 工藤スエ子さん
藍綬褒章を受章

工藤スエ子さん(久米二区)が藍綬褒章を受章し、報告のため市役所を表敬訪問しました。

工藤さんは、平成3年6月1日から約22年間保護司として活躍し、本年5月末日で保護司を退任。長年にわたる社会の犯罪予防、犯罪改善更生の活動が認められ、今回の受章となりました。今後ますますのご活躍をお祈りします。

受章おめでとうございます。



受章した工藤さん

6/20 東洋物産が
救命胴衣1700着を寄贈

ユニフォームや防護服などをつくるメーカーの東洋物産株式会社が、本市に救命胴衣を寄贈しました。同社の創業者で赤星地区出身の故・星野睦雄さんが生前、「故郷に貢献したい」と話していたことから、その遺志が受け継がれて実現したものです。この日は同社熊本工場長の高田英一郎さんが訪問。江頭市長は「故人の志に胸を打たれた。本当にありがたい」と応え、岩木憲文菊池市消防団団長も「安心安全な地域を目指したい」と感謝を述べました。



救命胴衣を着用した江頭市長に目録を手渡す高田工場長(中央)と岩木団長(中央左)ほか消防団幹部の皆さん

5/30 株式会社美少年が
水源小学校跡地に進出決定

(株)美少年と本市が、事業所設立の仮協定を締結しました。同社は、火の国酒造(株)から酒類の製造や販売などの事業を譲り受け、水源小学校跡地を拠点に10月の操業開始を目指しています。調印式には(株)美少年の千堂敬一郎社長と出資会社の(株)エヌ・エル・エーの千堂純子社長が出席。協定締結後、3人が固い握手を交わしました。菊池のおいしい米ときれいな水を生かした良質の商品造りで、今後さらなる地域の活性化が期待されます。



調印式で握手を交わす3人。右から千堂純子社長、千堂敬一郎社長、江頭実菊池市長

5/29 熊本県指導林家
青年林業士16人が認定

菊池地区林業研究グループ連絡協議会総会が限府であり、今後の菊池の林業を担う7人の青年林業士と、知識と経験で支える9人の指導林家に認定証が手渡されました。

認定された会員は次のとおりです。(敬称略)

指導林家 小川智英、坂口優一、武藤規尋、水上博司、山代正治、秋吉郁夫、中村和幸、宮本廣親、坂本信介 青年林業士 村上正八、山本善久、山本樹紀、緒方元一、中村文彦、木村和博、水上兼司郎



指導林家の認定証をもらう水上博司さん

7/7 犯罪防止と更生への理解を
社会を明るくする運動

第63回社会を明るくする運動菊池市集会は、菊池市文化会館で開催され、市民約600人が参加しました。この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会は市内の高校生が進行。ステージでは旭志小6年生の合唱や小中高校生の作文表彰・発表のほか、タレントの大田黒浩一さんの記念講演もあり、会場は笑顔に包まれました。



1. 大田黒さんのユーモラスな講話で会場は大盛況 2. 旭志小6年生の合唱 3. 菊池女子高茶道部のお手前披露などもありました

7/1 星野彰子さんへ
法務大臣感謝状贈呈

今年6月末まで人権擁護委員を4期12年務めた星野彰子さん(赤星)に、法務大臣から感謝状が贈られました。星野さんは平成13年7月に同委員に委嘱され、これまで人権に関わる相談業務や、小学校での人権学習などに取り組んできました。

退職に当たり、「高齢者の人権、近隣トラブルなどさまざまな人権相談を受ける中で、私自身の勉強になりました。今後は人権擁護委員として学んだことを地域に生かしていきたい」と話しました。



感謝状を手にする星野さん

6/8 第17回ほたるの里・旭志剣道大会

第17回ほたるの里・旭志剣道大会は、旭志体育館および旭志中学校体育館と武道場で開催されました。大会には800人を超える県内の小・中学生が参加。大勢の少年少女剣士たちが優勝を目指して激しい熱戦を繰り広げました。

上位結果は次のとおりです。

- 小学校低学年
優勝 須屋剣友会、準優勝 限府小学校
3位 旭志小学校、大津少年剣道クラブ



小学校高学年の部で優勝した限府小学校の皆さん

- 小学校高学年
優勝 限府小学校 準優勝 大津少年剣道クラブ
3位 北部少年剣道クラブ、菊之池小学校
- 中学校男子
優勝 九州学院中学校 準優勝 錦ヶ丘中学校
3位 旭志中学校・鹿北中学校
- 中学校女子
優勝 泗水中学校 準優勝 大津中学校 A
3位 旭志中学校、菊池北中学校



中学校女子の部門で優勝した泗水中学校の皆さん

■6月27日
花房保育園で哺乳体験

花房保育園で哺乳体験が行われました。牛乳の消費促進を目的に熊本酪農業協同組合菊池支所青年同志会が行ったもので、今年で3年目。会長の迫昭一郎さんは、「体験をとおして牛乳が好きになってもらえるきっかけになれば」と語りました。



最初は怖がっていた園児も慣れてくると積極的にミルクを飲ませていました

■7月5日
黒潮市場が泗水東小へ寄付

黒潮市場泗水店がマイバッグ持参運動で集めたレジ袋代金の一部を泗水東小に寄付しました。環境に関する学習などに役立ててもらおうと、店舗近隣の小学校述べ63校に寄付しています。松本拓也校長は「趣旨に沿うように有効活用したい」と感謝を述べました。



左から寄付金を手渡す井手誠貴店長、松本校長、梅原香花さん(6年)、豆塚駿くん(6年)

■7月13日
泗水図書館「ありがとう!コンサート」

昨年の豪雨災害から1年を迎え、無事に復旧したことへの感謝を込めて「ありがとう!コンサート」が開催されました。歌手の川原一紗さんほか2人のアーティストを迎え、童謡やオリジナルソングなど10曲を披露。訪れた約50人の観客を魅了しました。



川原さんの優しい歌声とコントラバスや民族楽器の穏やかな音色が館内に響きました

■6月25日
ロアッソの選手が七城中を訪問

ロアッソ熊本の選手3人が七城小と七城中を訪問し、子どもたちと交流しました。子どもたちはプロサッカー選手とパスなどでふれあうロアッソの選手とバスなどでふれあう大興奮。質問コーナーではサッカーに関してだけでなくプライベートな質問もあり、選手たちが回答に困る場面もありました。



サッカーでふれあうロアッソの選手と七城中生徒

■7月5日
旭志児童がホタルの幼虫を放流

旭志小の4年生6人が、高柳ホテルを育てる会の皆さんとホタルの幼虫を放流しました。昨年の災害の影響でホテルが激減し、少しでも早くホテルの姿を見たいと実施。同小の上田るいくんは「前みたいにホテルをいっぱいにして旭志を元気づけたい」と話しました。



自分たちで育てたホタルの幼虫を二鹿来川に放流する旭志小の児童たち

■7月11日
菊池高校1年生が史跡探訪

菊池高校1年生225人が菊池の史跡などを探訪しました。学校の地元である菊池の歴史と文化を学び愛着を育んでもらおうと実施したもので、本年で3回目。生徒たちは菊池観光ボランティアガイドの説明を聞きながら、菊池一族など歴史や文化を学びました。



ボランティアガイドの説明に耳を傾ける生徒たち

■6月24・28・29日
旭志方面隊が救命処置講習を受講

菊池市消防団旭志方面隊の団員約200人が、菊池北消防署でAEDを使用した救命処置講習を受講しました。災害時などの万が一に備え団員として落ち着いた対応ができるよう実施したものです。団員たちは消防署員の指導を受けながら真剣に取り組んでいました。



心肺蘇生法の手順を学ぶ団員の皆さん

■6月28日
花房小児童が支援米の田植え

花房小の5・6年生16人がカンボジアへ支援米を送ることを目的に田植えを行いました。同小では平成14年から実施。稲刈りは全校児童で行います。6年の中原暁さんは「初めて田植えをしました。カンボジアにいいお米が送れるとうれしいです」と話しました。



地域の人から指導を受けながら田植えをする児童たち

■7月5日
市老連がボランティア清掃

菊池市老人クラブ連合会の会員約20人が、菊池老人福祉センターの清掃作業で汗を流しました。早朝からセンター周囲の芝刈りや草取りなどを手際よく実施。作業に参加した会員は「日ごろお世話になっている施設に少しでも恩返しができるれば」と話しました。



清掃作業する会員の皆さん

■6月18日
上高野瀬老人会と菊池北小イモ掘り

菊池北小で上高野瀬老人会の皆さんと同小2年生がジャガイモ掘りを行いました。児童たちは会員の皆さんから指導を受けながら、約200kgのジャガイモを収穫。2年生の緒方天さんは、「みんないっぱい取ることができてうれしかったです」と笑顔を見せました。



収穫したジャガイモを手に笑顔を見せる菊池北小2年の児童たち

■6月22・23日
菊池ジュニアが九州大会出場決定

全日本バレーボール小学生大会熊本県大会が、山鹿市鹿本体育館で開催され、市内小学生バレーボールチームの菊池ジュニアが見事3位に入賞しました。同チームは、8月16日から沖縄県で開催される九州大会への出場が決定。九州大会での活躍が期待されます。



3位入賞した菊池ジュニアの皆さん

■6月24日
憩いの森公園が開園しました

憩いの森公園(泗水町吉富)の開園式があり、市民約50人が参加しました。公園にはウォーキングコース(内回り345m、外回り470m)や、市民の皆さんが利用できる(要申込)花壇「育みの園」などがあり、軽い運動やリラックスタイプの設備があります。



開園した憩いの森公園

■6月14日
泗水中学校「夢はぐくみプロジェクト」

泗水中学校の「夢はぐくみプロジェクト」の一環として、RKKメディアプランニングの桂木まやさんの講演会が泗水ホールで行われました。この講演会は、社会的・職業的自立や、進路選択で自分の適性を知る手掛かりとなることを目的に開催されました。



ステージ上がった生徒は緊張しながらも桂木さんとのやりとりを楽しんでいました

■6月22日
子ども自転車大会で旭志小が2連覇

第40回菊池地区交通安全子ども自転車大会が菊池体育センターで開催され、旭志小学校Bチームが優勝し、団体2連覇の栄冠を勝ち取りました。メンバーは次のとおりです。(敬称略) 田崎 練、田崎真美、梶田和伸、高宗ひかり



2連覇を飾った旭志小と関係者の皆さん

■6月24日
隈府中央地区整備事業報告会

隈府中央地区都市再生整備計画事業報告会が、横町ポケットパーク横広場であり、市民約30人が参加しました。江頭市長は「ここは防災の避難場所や催し物への活用もできる。知恵を絞りにぎわい再生の実現に向けて粘り強く頑張りましょう」とあいさつしました。



江頭市長のあいさつに耳を傾ける市民の皆さん

■6月13日
菊池女子高で文化講演会

熊日新聞社と一ツ橋文芸教育振興会主催の「高校生のための文化講演会」が、菊池女子高で開催されました。講師は、愛知県出身の作家・飛鳥井千砂さん。「『好き』を見つけよう」と題し、経験談を交えながら「自分が好きなものを見つけよう」と生徒たちに伝えました。



講師の飛鳥井さん。講演後、集英社より100冊の著書が学校に寄贈されました

■6月21日
「菊池源吾に学ぶ会」第1回学習会

七城公民館で開催されました。テーマは「菊池源吾の手紙解読」。西郷隆盛(菊池源吾)が奄美に身を潜めていた約3年間に手紙を読み解く学習会です。集まった会員の皆さんは、同会副会長で講師の津留今朝寿さんの解説に熱心に耳を傾けていました。



熱心に学習する会員の皆さん

■6月22日
第9回菊池まちづくり道場

菊池高校前の松倉邸で開催され、市民や関係者約40人が参加しました。今回の対談は菊池観光協会代表理事の服部英治さん。服部さんは本市の観光について、「早急な観光ビジョンの策定と個人旅行客のニーズに応えることが大事」と語りました。



語り手の服部さん(左)と聞き手の藤原恵洋教授